

## 礼文島における国際共同調査（参加要項）

### 1 調査内容

- (1) **事業名**：国際フィールドスクール・イン・礼文島（International Field School in Rebun Island）  
研究拠点形成事業：「北方圏における人類生態史総合研究拠点」の一環として
- (2) **事業主体者**：北海道大学アイヌ・先住民研究センター
- (3) **調査先**：北海道礼文郡礼文町 浜中2遺跡
- (4) **調査担当者**：加藤博文氏（北大教授） 増田隆一氏（北大教授、本校卒業生）
- (5) **参加機関**：アルバータ大学（カナダ）・アバディーン大学（英国）  
オックスフォード大学（英国）・東京大学・琉球大学医学部医学科等
- (6) **調査内容**：考古学・人類学・生物学・環境科学の文理融合型学際研究。北海道礼文島の砂丘に形成された数千年にわたる堆積層（貝塚：浜中2遺跡）の調査を通じ、長期的な気候変動や人類集団の痕跡を復元する。この間、専門家を講師とした研究会、各国から参加する学生の交流会、地元高校生・市民向けの体験発掘が行われる。
- (7) **参加目的**：国内で実施される本格的な国際共同調査に参加し、研究の最前線の状況をフィールドワークを通じて体験する。海外の研究者や学生と積極的に交流し、国際感覚を養う。さらに、成果をまとめて発表するプレゼン活動を通じて学んだことを他者に伝える表現力を培う。
- (8) **参加期日**：8月17日（日）～8月21日（木）  
第一日目及び最終日は移動日。調査参加は18・19・20日の3日間。
- (9) **行程表**： 8月17日（日） セントレア(7:40) → 新千歳空港(9:20)  
新千歳空港(10:20) → 稚内空港(11:15)  
稚内港(15:30) → 礼文島(17:25)  
\*初日はセントレア前泊が安全。宿所は民宿。  
8月18日（月）～20日（水） 調査及び研究会、交流会への参加。  
8月21日（木） 礼文島(12:30) → 稚内港(14:25)  
稚内空港(17:10) → 新千歳空港(18:00)  
新千歳空港(18:30) → セントレア(20:15)
- (10) **参加・引率者**：本校1年生の中から希望者7名を募集。予定人数を越えた場合には選考する。引率・指導 本校教員1名、大学生1名

### 2 参加要件

下記の参加要件をよく読み合致するかを考え、「参加申込書」を提出してください。予定人数を越えた場合は、厳正な審査（作文・面接）の上、選考いたします。

#### <参加要件>

- 考古学・人類学・生物学・環境科学のいずれかもしくは複数の学問分野に興味・関心のある者。ただし、詳しい専門知識はいりません。現時点で関心があれば結構です。
- 英会話に関心のある人。外国の研究者や学生が多数参加します。英会話の力を付ける絶好の機会です。教室で学ぶ英語力とは異なる力が問われます。たとえ下手でも、ものおじせずに会話する積極性をもつ人、大歓迎です。
- 根気のある人。なみはずれた体力は必要ありませんが、発掘現場で地道な作業が続きます。
- 事前学習、事後学習に取り組める人。調査に参加した成果をまとめ、日本語や英語でのプレゼンテーションを行います。
- 団体行動のとれる人。4泊5日の間団体行動となります。宿所では相部屋となります。
- 参加費用を負担できる人（下記参照）。

### 3 参加費用

交通費・宿泊費・食費を含め、13万円程度。